

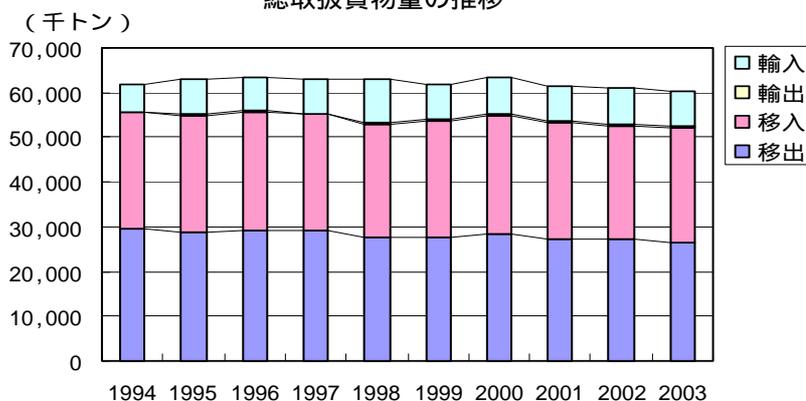
# 章 青森県港湾の概況

## 1. 取扱貨物量

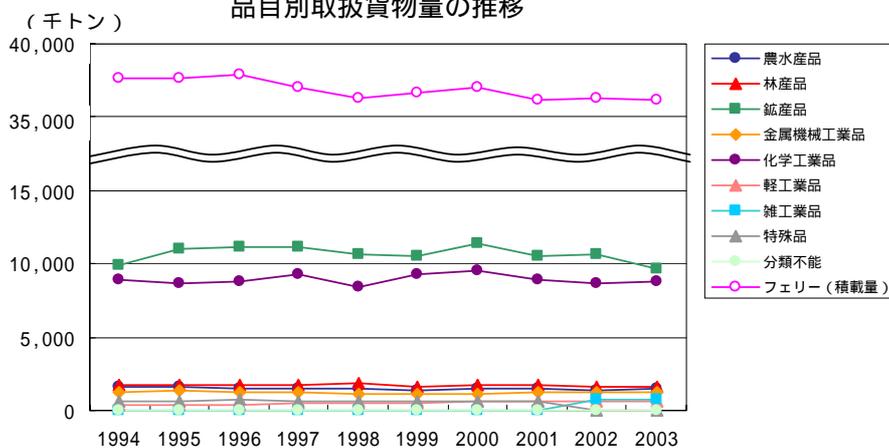
### (1) 青森県港湾の総取扱貨物量

青森県内港湾の総取扱貨物量は、1994年から2003年までの10年間で概ね横ばい傾向である。品目別取扱貨物量は、フェリー貨物が3,500万トン強と最も多く、次いで金属鉱や石灰岩などの鉱産品や化学製品の約1,000万トンとなっており、いずれの品目も、概ね横ばい傾向である。取扱貨物量を港湾別にみると、八戸港が最も多く、次いで青森港、尻屋岬港となっている。

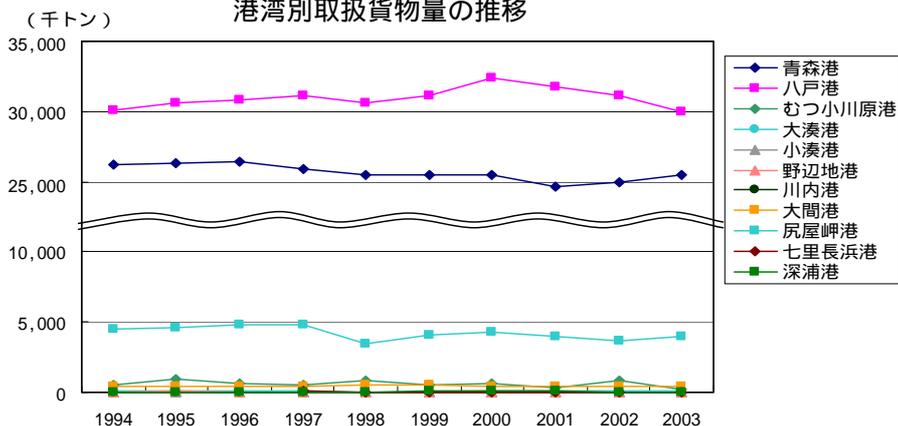
総取扱貨物量の推移



品目別取扱貨物量の推移



港湾別取扱貨物量の推移

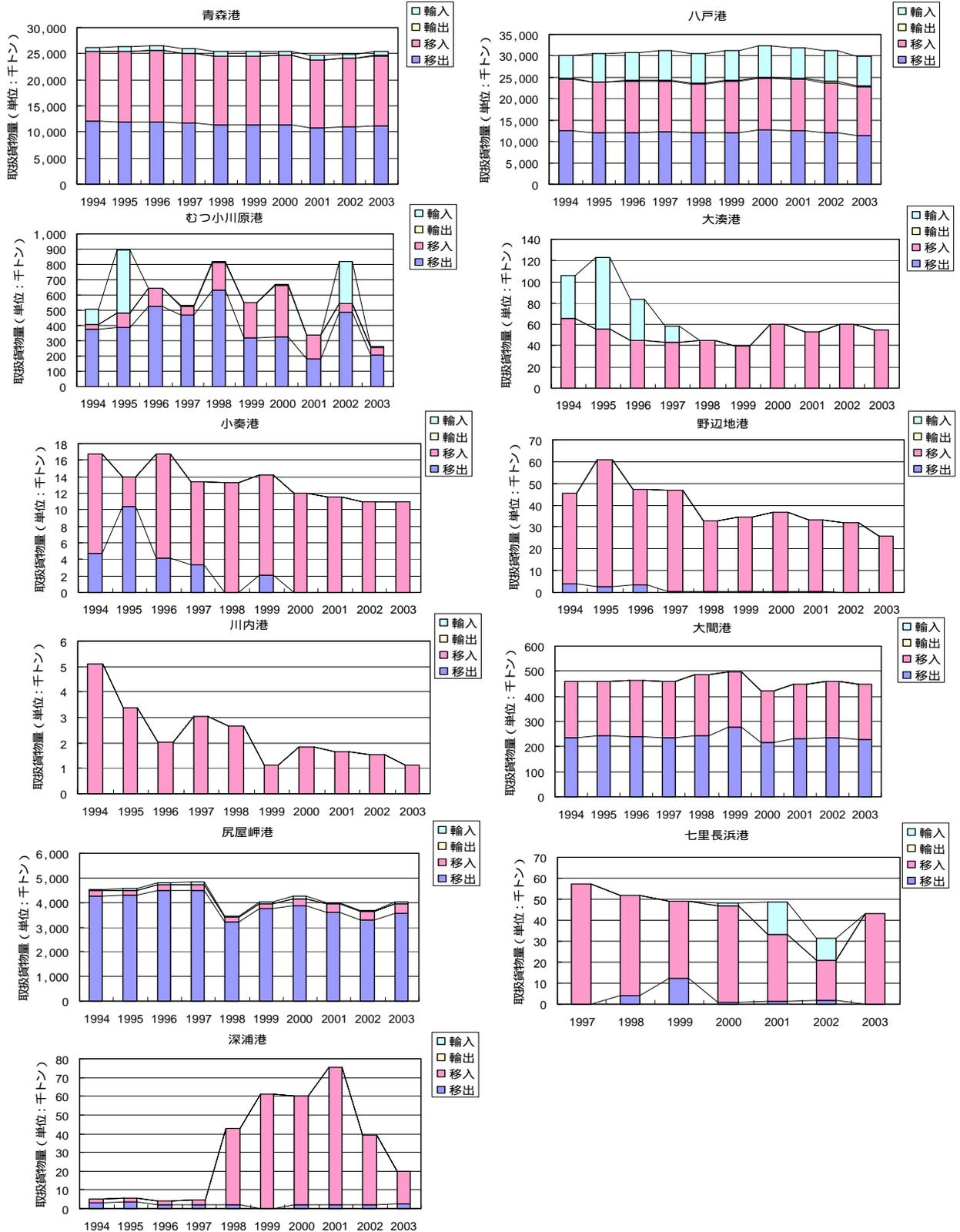


資料：青森県港湾統計

## (2) 港湾別の取扱貨物量

外買取扱貨物量をみると、コンテナ貨物取扱港である八戸港が最も多く、次いで青森港となっており、その他、尻屋岬港などでも外貿貨物を取り扱っている。

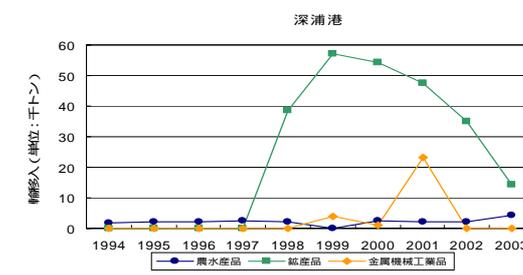
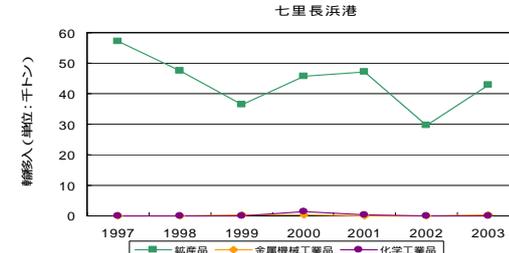
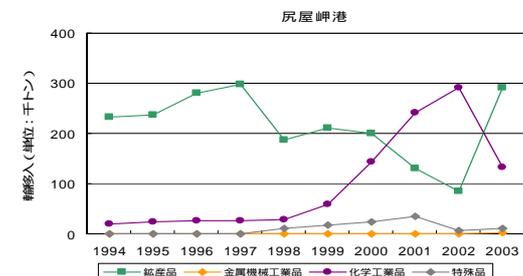
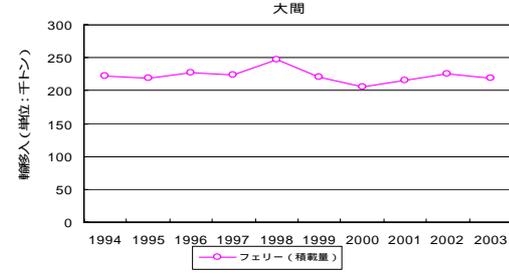
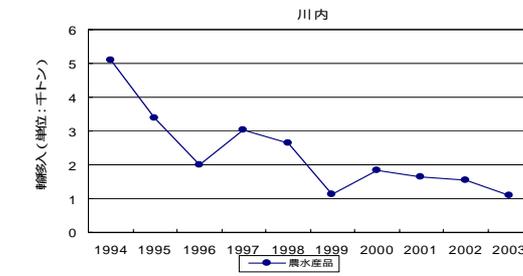
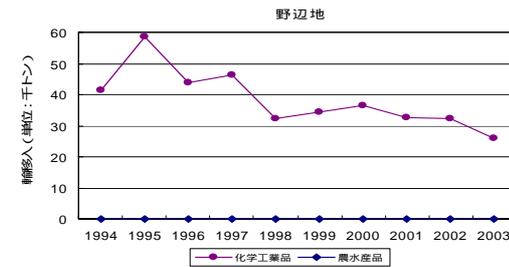
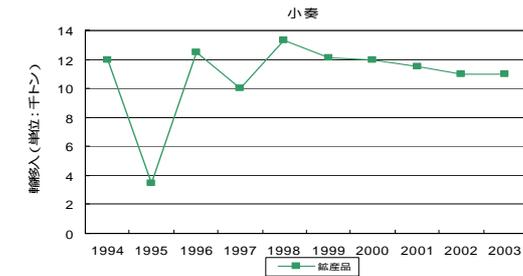
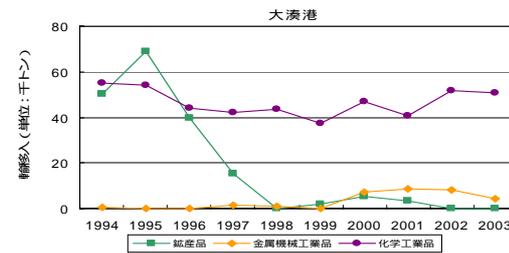
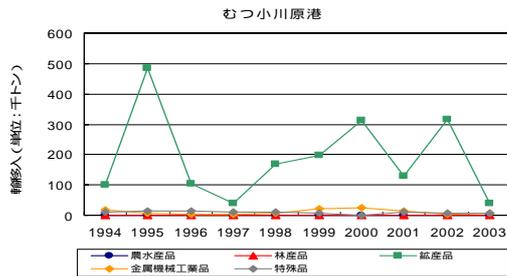
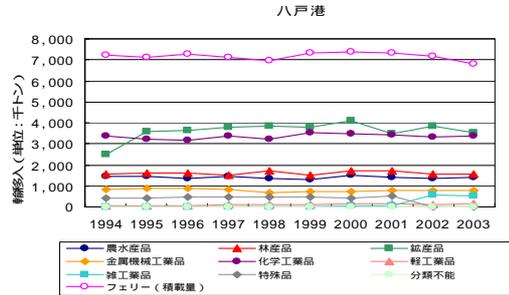
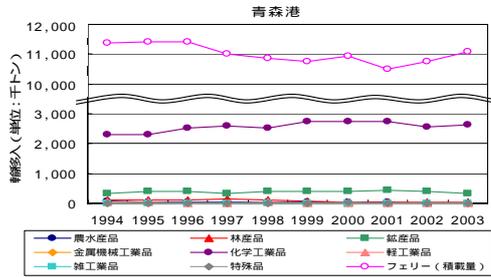
内貿貨物取扱量をみると、青森港が最も多く、次いで八戸港、尻屋岬港となっている。



資料：青森県港湾統計

### (3) 港湾別品目別の取扱貨物量（輸移入）

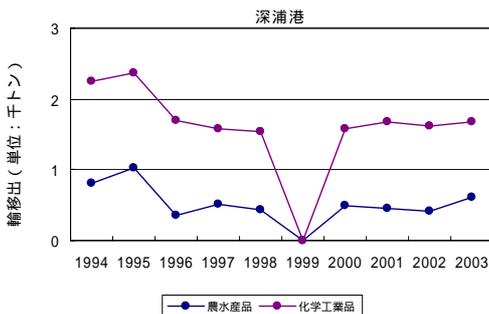
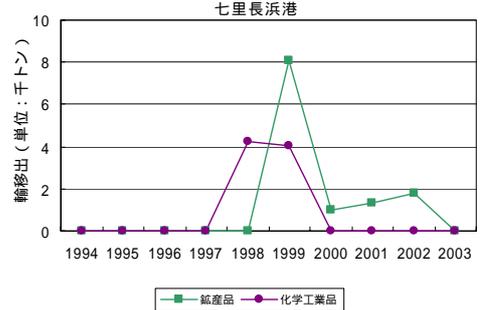
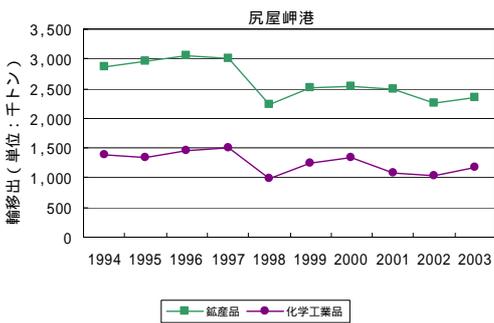
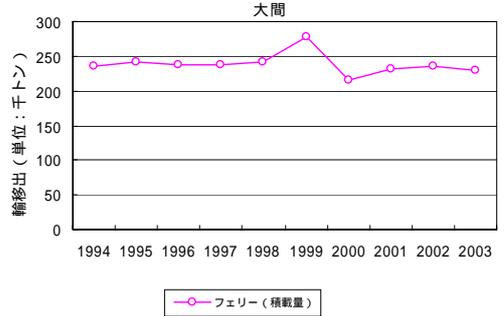
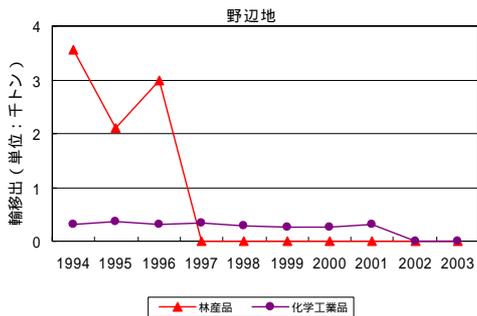
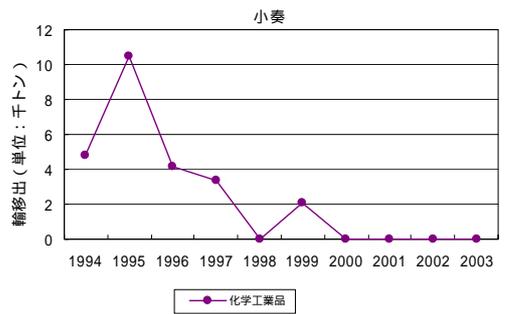
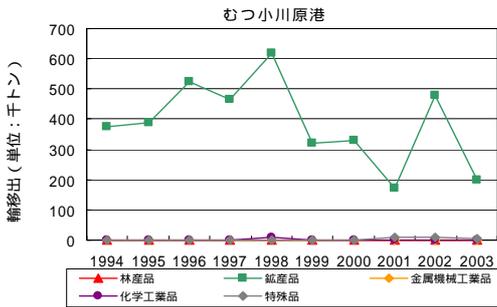
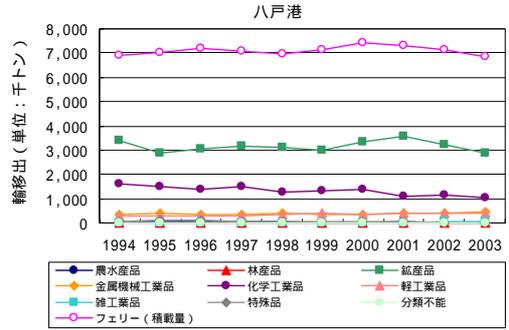
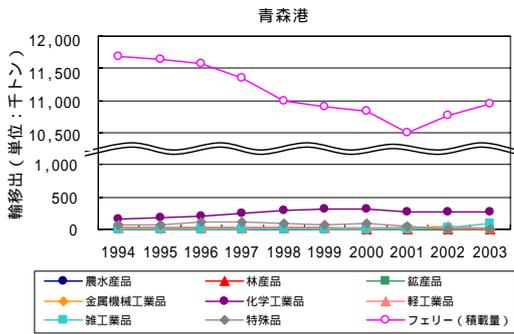
輸移入品目は、青森港・大湊港は化学工業品、八戸港・尻屋岬港は鉱産品・化学工業品、その他港は鉱産品が中心である。



資料：青森県港湾統計

(4) 港湾別品目別の取扱貨物量（輸移出）

輸移出品目は、青森港・深浦港は化学工業品、その他の港は鉱産品が中心である。



資料：青森県港湾統計

## 2. 外貿コンテナ

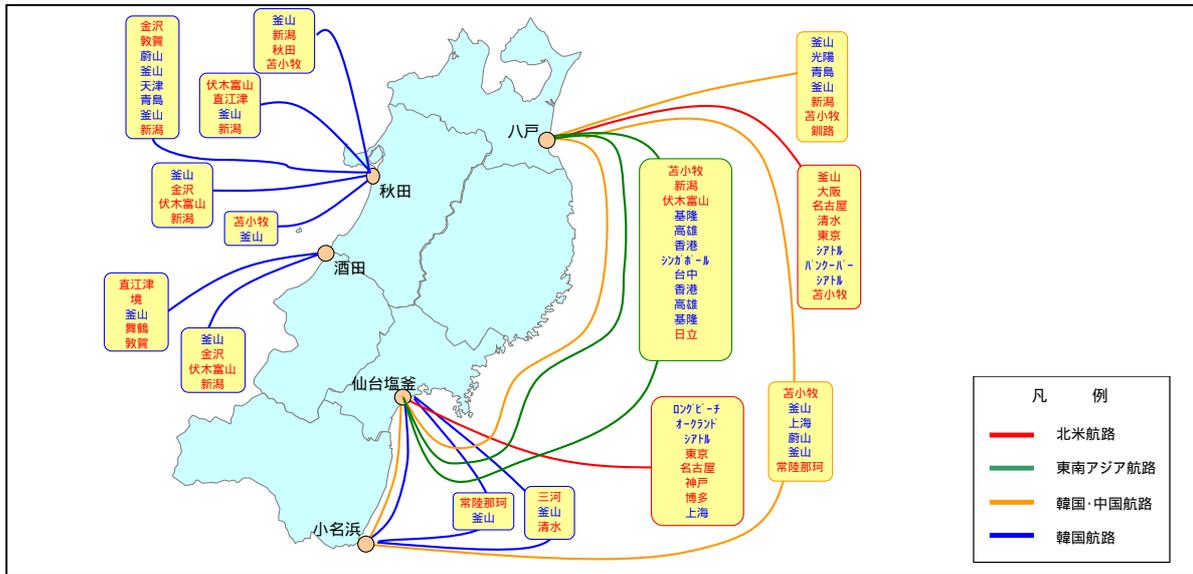
### (1) 定期航路及び取扱量

東北地方における外貿コンテナ取扱港湾は、小名浜港、仙台塩釜港、八戸港、秋田港、酒田港の5港であり、八戸港には3航路（東南アジア、韓国・中国、北米）の外貿コンテナ定期航路が就航している。また、横浜港との間に内航フィーダーが就航している。

八戸港の外貿コンテナ取扱量は、2004年時点では東北各港で第3位である。

外貿コンテナ取扱量を航路別に見ると、韓国・中国航路の取扱量が一著しい伸びを見せ、2003年時点では最も取扱量の多い航路となっている。

東北各港の外貿コンテナ定期航路

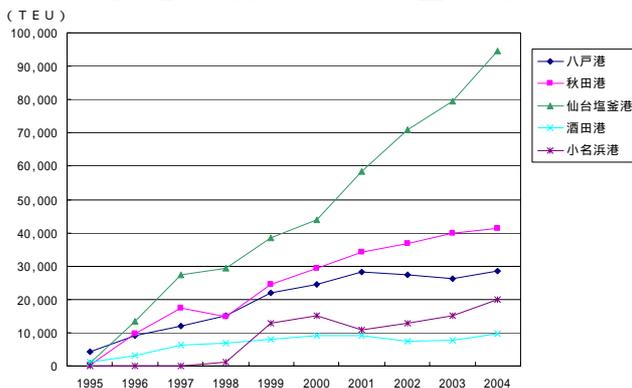


八戸港のコンテナ定期航路

港名	航路			開設年月	運行回数
	航路名	寄港地	船社名		
八戸	東南アジア	八戸-仙台-釜山-光陽-基隆-高雄-香港-シンガポール-香港-高雄-基隆-新潟-苫小牧-八戸	パシフィック・インターナショナル・ラインズ (PIL)	94/08	1回/週(日)
	韓国・中国	八戸-仙台-小名浜-常陸那珂-釜山-蔚山-上海-釜山-苫小牧-八戸	南星海運	98/08 (02/01)	1回/週(水)
		八戸-函館-釜山-大連-光陽-青島-釜山-新潟-苫小牧-八戸			1回/週(月)
	北米	八戸-釜山-大阪-名古屋-清水-東京-シアトル-バンクーバー-シアトル-苫小牧-八戸	グロブスタッド・シッピング・ラインズ	98/10	1回/月
内航フィーダー	八戸-苫小牧-横浜-仙台塩釜-宮古-八戸	櫛横浜コンテナライン	八戸通運	99/09	1回/週(木)
	八戸-東京-仙台-八戸	井本商運(株)	八戸港湾運送	06/03	1回/週(土)

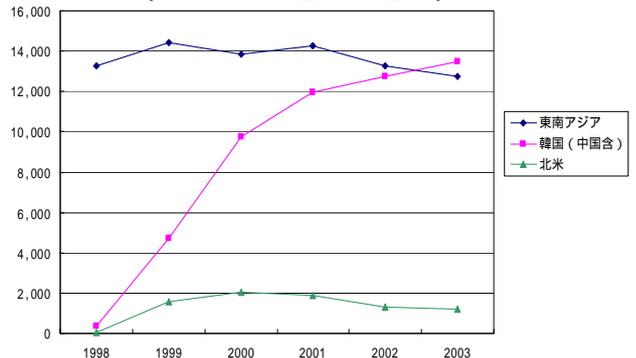
資料：八戸市産業政策課(平成18年3月4日)

東北各港の外貿コンテナ取扱量の推移



2004年は港湾管理者からの聞き取りによる速報値

八戸港の航路別コンテナ取扱量  
(輸出入計・空コン込み)

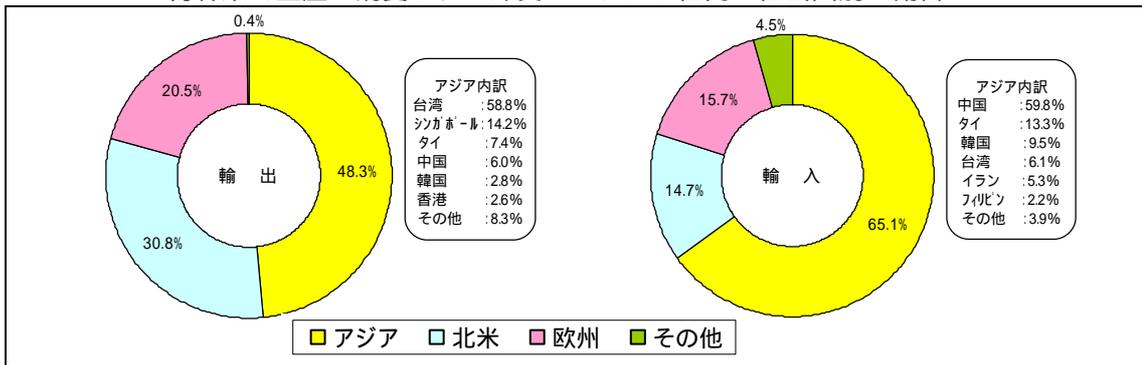


資料：青森港湾統計

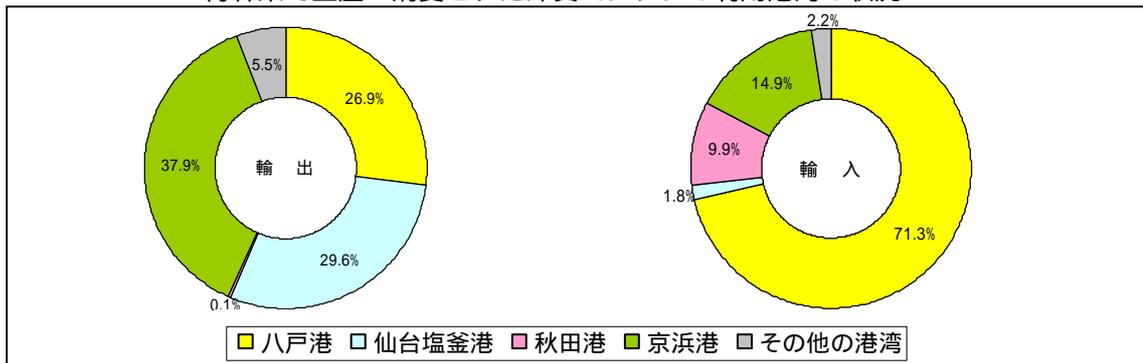
## (2) コンテナ流動

青森県で生産・消費された外貿コンテナ貨物を仕向・仕出国別に見ると、ともにアジア地域の占める割合が最も高く、なかでも、仕向国では台湾、仕出国では中国の占める割合が高い。青森県で生産される外貿コンテナ貨物は、7割以上が県外港湾から輸出されている。一方で、消費される外貿コンテナ貨物については、7割以上が八戸港から輸入されている。地域別の流動を見ると、津軽地域で生産される外貿コンテナ貨物の殆どは県外港湾から輸出されている。

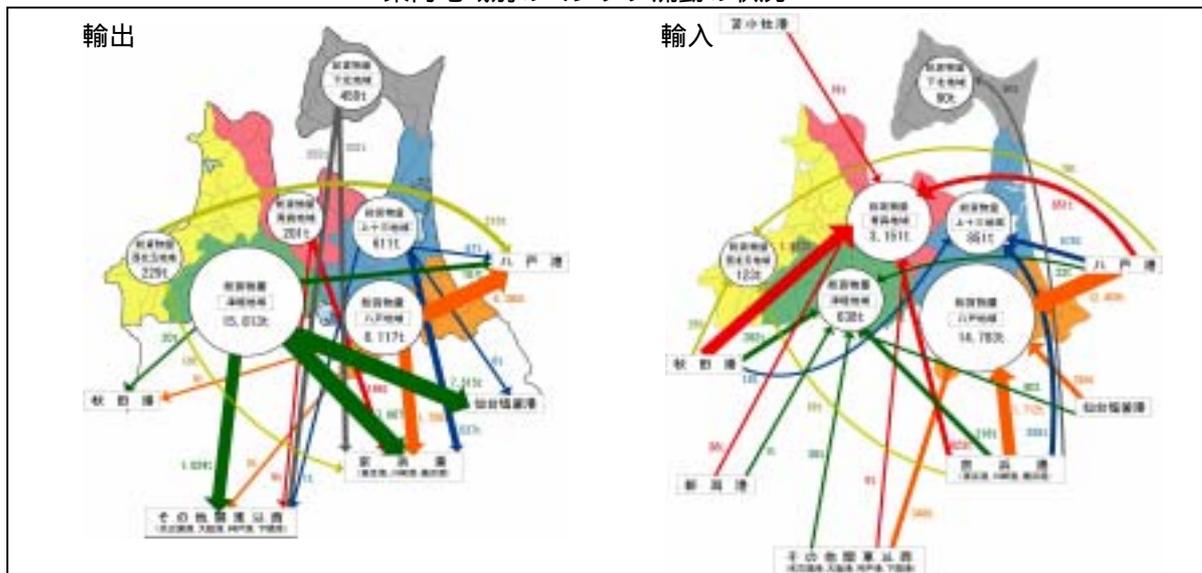
青森県で生産・消費された外貿コンテナの仕向・仕出国別の割合



青森県で生産・消費された外貿コンテナの利用港湾の状況



県内地域別のコンテナ流動の状況



資料：平成15年度全国輸出入コンテナ流動調査

### 3. 産業動向

#### (1) リサイクル関連

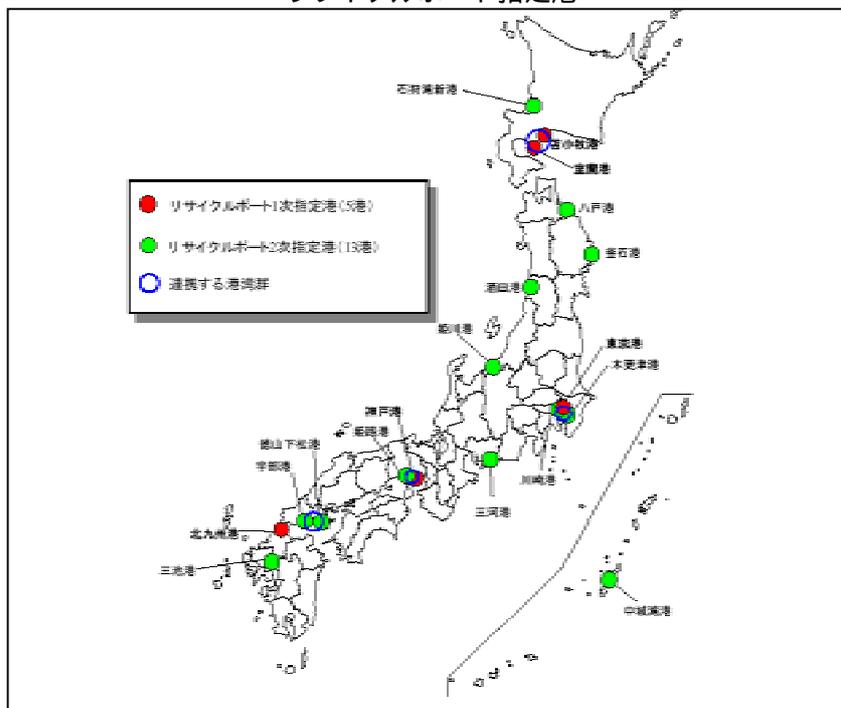
青森県は、県内のリサイクル資源を活かした自然還元に資する製品を生み出すシステム構築を通じて、自然環境の保全・再生を目指す構想である「あおもリエコタウンプラン」を策定し、2002年12月25日に、経済産業省・環境省の共同承認を受けている。

具体的には八戸地区において、古くから蓄積された金属溶融還元・金属精錬技術を活用して、ホタテ貝殻や一般廃棄物の償却灰等を安全な形で再資源化することにより、水産資源の育成に関する漁礁や天然砂利の代替品としての人工スラグ生産事業等を推進することとしている。

八戸港は、2003年4月23日に、国土交通省の重点施策の一つである「総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）」の指定も受けており、「あおもリエコタウン：八戸ゼロエミッションシステム」や「環境・エネルギー産業創造特区」等との連携を目指している。

青森県のリサイクル資源の輸出状況はアジアへ向けた輸出が中心である。

リサイクルポート指定港

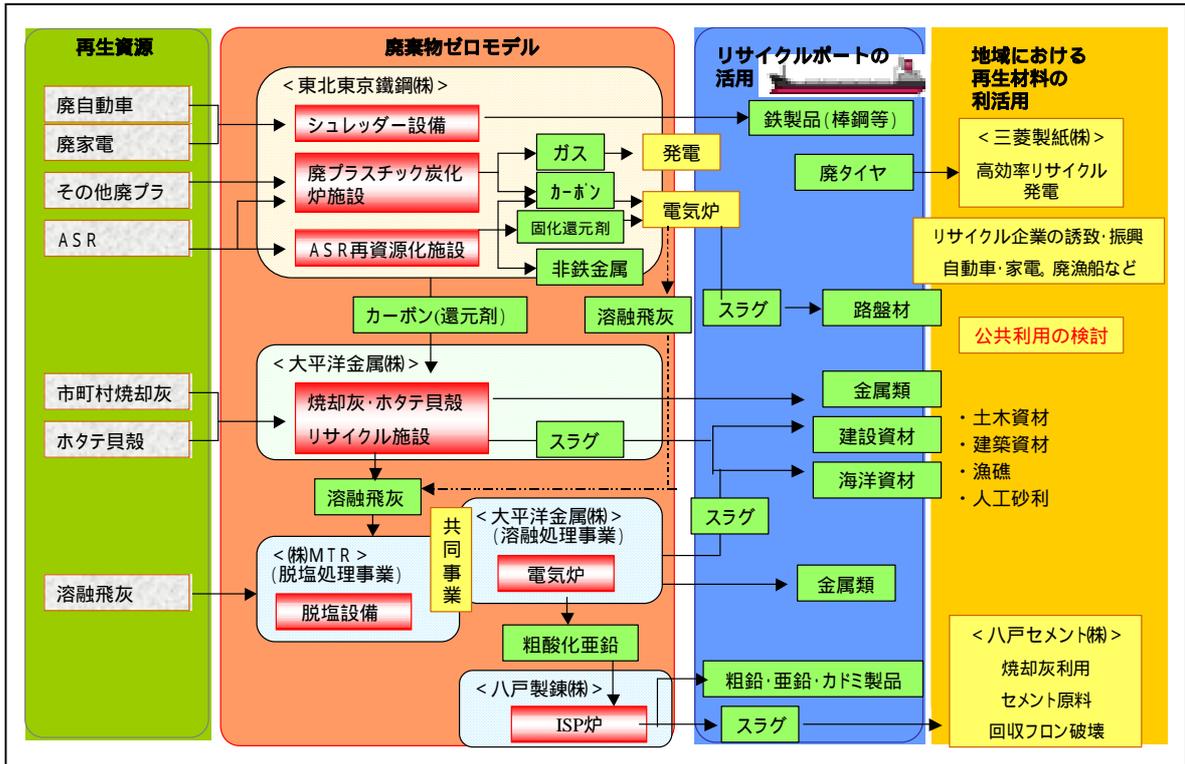


青森県の国別品目別再生資源輸出货量

輸移出入	循環資源	取扱量(t)	係留場所	仕向け港
輸出合計	スクラップ	6,511	八太郎B岸壁	中国（江門港、湛江港、海門港）
		174	八太郎E岸壁	香港（香港港）、台湾（高雄港）
		871	八太郎J岸壁	韓国（釜山港）、香港（香港港）、台湾（高雄港）
	スクラップ 計	7,556		
	各種スラグ	43,090	河原木2号埠頭A岸壁	フィリピン（ピラネバ港）
		29	八太郎J岸壁	台湾（高雄港）
	各種スラグ 計	43,119		
	中古機械	3,873	八太郎E岸壁	シンガポール（シンガポール港）、韓国（釜山）、香港（香港港）
		11,554	八太郎J岸壁	シンガポール（シンガポール港）、韓国（釜山）、香港（香港港）
		29	八太郎P岸壁	アメリカ（シアトル港）
	中古機械 計	15,456		
輸出合計		66,131		

資料：青森県資料

あおもりエコタウンプランのスキーム図



資料：八戸市提供資料

八戸港における環境関連事業の連動イメージ



資料：八戸市提供資料

## (2) 臨海部における風力発電

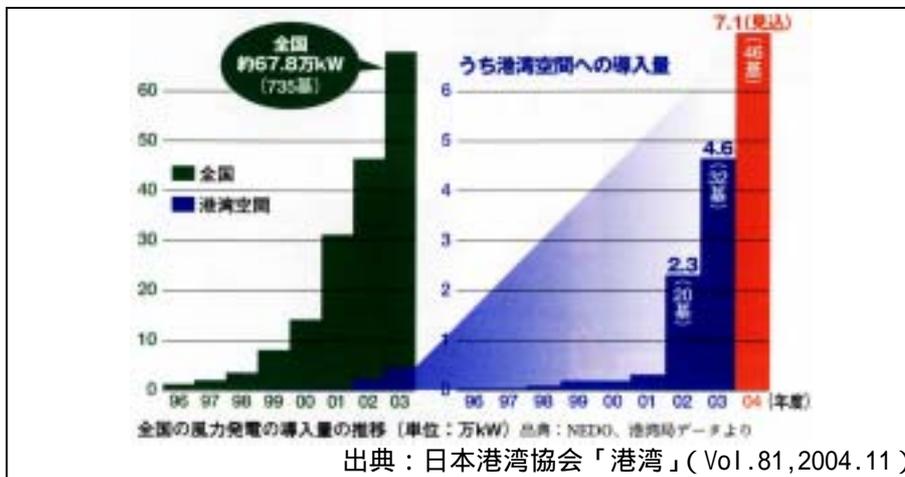
近年、我が国における風力発電導入量が急速に伸びている中、特に港湾空間への導入が急増してきている。

青森県内では、八戸港において事業化が検討されている。

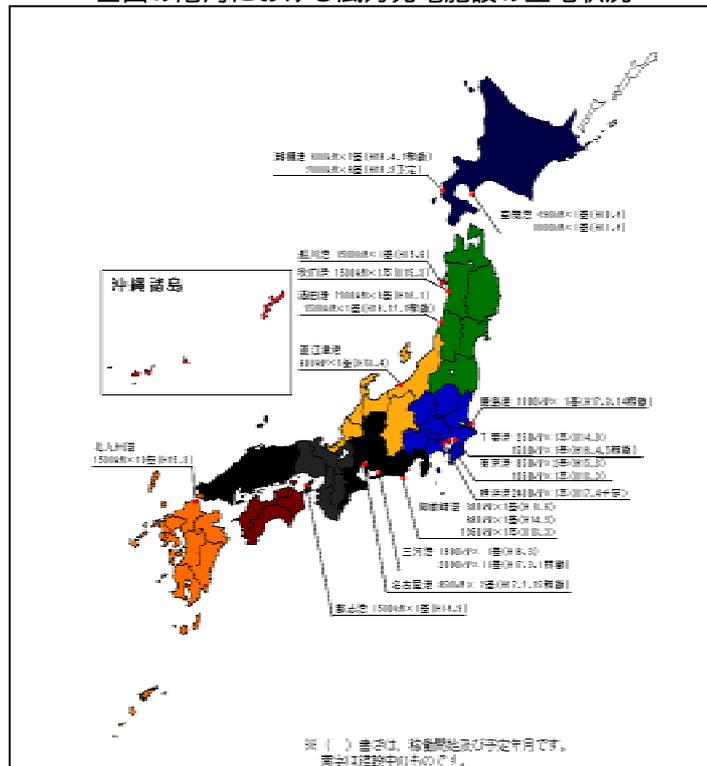
八戸港の例

- ・八戸市では、「海から拓け、海と共に発展してきた」と言われるように、海を活かしたまちづくりを進めている。
- ・そうした中、洋上風力発電に着目し、勉強会の立ち上げ、事業化調査の実施などの取組みを行ってきている。
- ・全国にも例のない八戸独自の洋上風力発電事業モデルの構築を目指している。
- ・2003年に策定した「八戸市地域新エネルギービジョン」において、2010年度の数値目標として、最終消費エネルギーの6%を新エネルギーでまかなうことを掲げている。

全国における風力発電の導入量及び港湾空間への導入量



全国の港湾における風力発電施設の立地状況



## 4. 観光動向

### (1) クルーズ観光

日本のクルーズ人口は世界的に見てまだ少ないものの、潜在的にはまだまだ需要が見込まれている。

外航クルーズ船の寄港回数をみると、東北は全国と比較して少ない。

青森港では、内航クルーズ船の寄港が定着化しており、特に、ねぶた祭りクルーズの人気の高い。

世界のクルーズ人口推移

国名	1990年	1997年	1998年	1999年
アメリカ	3,500	5,505	5,500	6,250
イギリス	180	650	635	746
ドイツ	190	283	283	283
カナダ	150	250	250	250
イタリア		250	250	250
フランス	75	150	165	223
アジア（除く日本）	75	500	800	800
日本	175	186	176	169
その他	280	375	395	445
合計	4,625	8,149	8,454	9,416

出典：(社)日本外航客船協会  
「平成13年度わが国における旅客クルーズの振興に関する提言について」

地域別外航クルーズ船寄港回数

地域	1999年	2000年	2001年	2002年	合計	年平均
北海道	9	13	8	15	45	11
東北	12	5	6	6	29	7
関東	42	46	44	43	175	44
北陸	14	14	11	5	44	11
中部	7	8	2	4	21	5
近畿	28	37	39	55	159	40
四国	2	14	2	7	25	6
中国	1	11	17	27	56	14
九州	25	141	197	42	405	101
沖縄	69	80	65	76	290	73
合計	209	369	391	280	1,249	312

出典：国土交通省海事局外航課

### ねぶたと客船



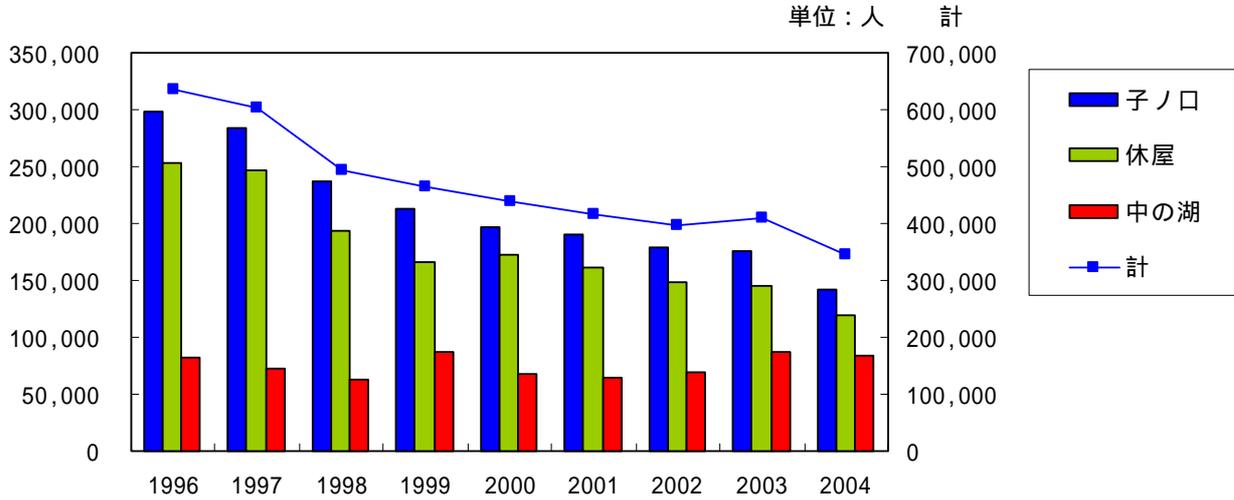
青森県に寄港したクルーズ船の実績

港名	年度	寄港期間	岸壁水深(m)	船名	クルーズ名	外内航
青森港	1999	1999/4/9	-10.0	ふじ丸	春の日本一周クルーズ	内航
		1999/5/3	-10.0	さんぷらわあ みと	弘前桜祭りクルーズ	内航
		1999/5/3	-10.0	さんぷらわあ えりも	弘前桜祭りクルーズ	内航
		1999/7/14	-10.0	ばしふいっくびいなす	チャータークルーズ	内航
		1999/7/16	-10.0	ばしふいっくびいなす	チャータークルーズ	内航
		1998/7/26~27	-10.0	ふじ丸	シニア洋上クルーズ	内航
		1999/8/3	-10.0	にっぽん丸	東北三大祭クルーズ	内航
		1998/8/6~7	-10.0	飛鳥	竿灯・ねぶた祭クルーズ	内航
		1999/8/30	-10.0	ふじ丸	青森県青年の船	外航
	1999/9/10	-10.0	ふじ丸	青森県青年の船	外航	
	2000	2000/5/11	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2000/7/16	-10.0	ふじ丸	青森ワンナイトクルーズ	内航
		2000/7/17~18	-10.0	ふじ丸	青森シニア洋上クルーズ	内航
		2000/8/3	-10.0	にっぽん丸	青森三大祭クルーズ	内航
		2000/8/6~7	-10.0	飛鳥	竿灯・ねぶた祭クルーズ	内航
		2000/8/18~19	-10.0	威臨丸	青森港内クルーズ	内航
		2000/9/16	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ	内航
		2000/9/16	-10.0	ふじ丸	青森県みどりの船	内航
	2001	2001/5/9	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2001/5/11	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2001/6/19	-9.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2001/7/21	-13.0	ふじ丸	チャータークルーズ	内航
		2001/8/3	-10.0	にっぽん丸	東北夏祭りクルーズ	内航
		2001/8/6~7	-10.0	飛鳥	竿灯・ねぶた祭クルーズ	内航
		2001/9/1	-10.0	ふじ丸	十和田湖国境祭りと 越中おわら風の盆クルーズ	内航
		2001/9/13~15	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ	内航
	2001/10/21	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ	内航	
	2002	2002/4/1	-10.0	飛鳥	春の日本一周クルーズ	内航
		2002/4/18	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2002/4/29	-10.0	にっぽん丸	日本一周クルーズ	内航
		2002/5/3	-10.0	ばしふいっくびいなす	ゴールデンウィーク日本一周	内航
		2002/5/4	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2002/5/6	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2002/5/25	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2002/7/22	-10.0	ばしふいっくびいなす	チャータークルーズ	内航
		2002/8/5	-10.0	にっぽん丸	夏祭りクルーズ	内航
		2002/8/6~7	-10.0	飛鳥	竿灯・ねぶた祭クルーズ	内航
		2002/8/27	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ	内航
		2002/8/29	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ	内航
		2002/9/8~9	-10.0	にっぽん丸	秋の日本一周クルーズ	内航
	2002/9/10~11	-10.0	ふじ丸	金沢加賀百万石クルーズ	内航	
	2002/10/3	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ	内航	
	2003	2003/5/16	-13.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2003/5/18	-13.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2003/6/6	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航
		2003/8/5~6	-10.0	にっぽん丸	夏祭りクルーズ	内航
		2003/8/6~7	-10.0	飛鳥	竿灯・ねぶた祭クルーズ	内航
		2003/9/4	-10.0	ふじ丸	あすなる友の船	内航
		2003/9/5	-10.0	ふじ丸	あすなる友の船	内航
		2003/9/8~9	-10.0	ふじ丸	チャータークルーズ	内航
		2003/9/12	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ(青銀)	内航
	2003/9/16	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ(青銀)	内航	
	2003/9/29	-10.0	飛鳥	秋の日本一周クルーズ	内航	
2004	2004/4/7	-10.0	にっぽん丸	春の津軽クルーズ ( & 青森市民クルーズ )	内航	
	2004/5/30	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航	
	2004/6/1	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航	
	2004/6/20	-10.0	CLIPPER ODYSSEY	日本クルーズ	外航	
	2004/8/4	-10.0	ばしふいっくびいなす	ねぶたクルーズ	内航	
	2004/8/5	-10.0	にっぽん丸	夏祭りクルーズ	内航	
	2004/8/6~7	-10.0	飛鳥	竿灯・ねぶたクルーズ	内航	
	2004/9/30	-10.0	飛鳥	秋の日本一周クルーズ	内航	
	未定	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ(青銀)	内航	
未定	-10.0	飛鳥	チャータークルーズ(青銀)	内航		
八戸港	1999	1999/5/2	-12.0	ばしふいっくびいなす	ゴールデンウィーク日本一周クルーズ	内航
	2000	2000/10/14	-12.0	飛鳥	秋のみちのく紅葉クルーズ	内航
	2001	2001/7/24	-7.5	ふじ丸	八戸市民クルーズ	内航
	2002	2002/7/24	-10.0	ばしふいっくびいなす	チャータークルーズ	内航
		2002/9/1	-7.5	ふじ丸		内航
		2002/9/3~4	-7.5	ふじ丸	八戸信用金庫創立80周年記念クルーズ	内航
	2003	2002/9/6	-7.5	ふじ丸		内航
2003/7/2		-7.5	飛鳥	雪と桜の日本一周クルーズ	内航	
2003/10/17	-7.5	ふじ丸	秋のクルーズ	内航		
2003/10/18	-7.5	ばしふいっくびいなす	三越友の会創立30周年クルーズ	内航		
大湊港	2001	2001/9/23	-7.5	ふじ丸	秋の日本一周クルーズ	内航
	2002	2002/10/18	-7.5	ばしふいっくびいなす	秋の釧路・下北・金華山クルーズ	内航
七里 長浜港	1999	1999/7/29	-7.5	ふじ丸	利尻礼文クルーズ	内航
	1999	1999/10/9	-7.5	ふじ丸	白神山地クルーズ	内航
	2000	2000/9/15	-7.5	ふじ丸	鯉ヶ沢青森ワンナイトクルーズ	内航
	2001	2001/7/20	-7.5	ふじ丸	函館ワンナイトクルーズ	内航
2002	2002/9/8	-7.5	ふじ丸	金沢加賀百万石クルーズ	内航	

(2) 遊覧船観光

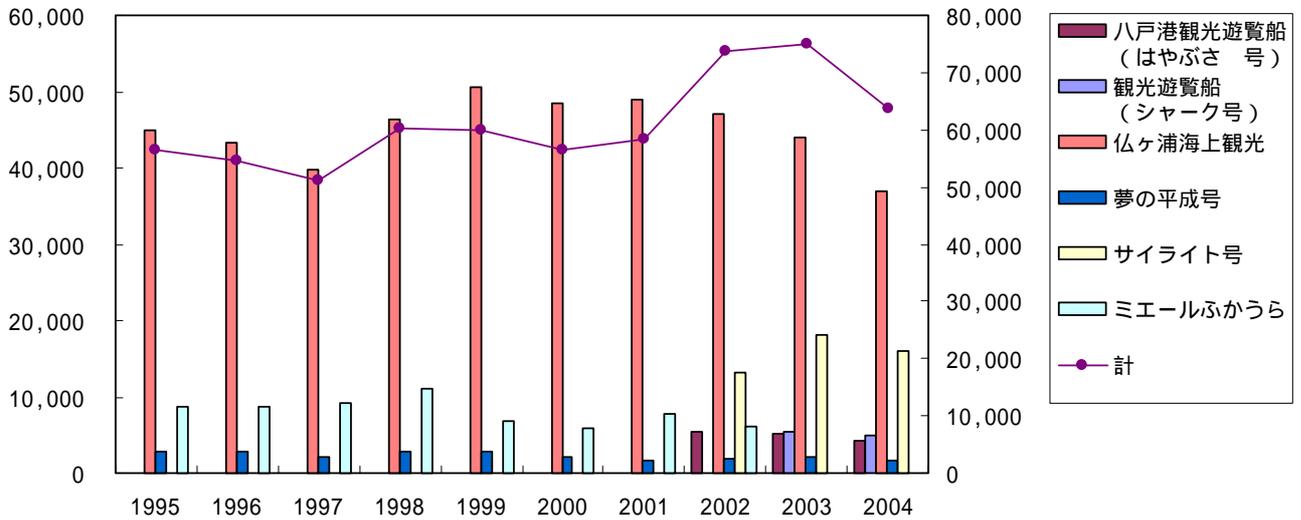
十和田湖における観光遊覧船の利用客は近年、減少傾向にある。その他については、サイライト号等の新たな周遊ルートの就航により、増加傾向を示している。

乗船地別観光遊覧船利用状況（十和田湖の遊覧船）



出典：青森県観光統計概要

観光遊覧船利用状況（その他の遊覧船）



八戸港観光遊覧船 (はやぶさ号)	蕪島 八戸港
観光遊覧船 (シャーク号)	沼館 八戸港
仏ヶ浦海上観光	佐井 牛滝
夢の平成号	脇野沢 鯛島 貝崎
サイライト号	佐井 仏ヶ浦
ミエールふかうら	深浦 入前崎 深浦 行合崎

出典：青森県観光統計概要

## 5 . 環境

青森港は、東北地方で緑地面積率が最も高い港湾の一つである。

閉鎖性水域である陸奥湾では、河川等からの生活排水の流入により水質・底質の悪化が懸念される。

青森市では、積雪の処理方法の一つとして海上投入が行われている。

東北地方における各港湾の緑地面積

港湾名	都道府県	種類	供用緑地面積 (ha)	臨港地区面積 (ha)	緑地面積率
青森	青森県		21.6	140	15.4%
八戸	青森県		14.6	625	2.3%
むつ小川原	青森県		1.5	992	0.2%
秋田	秋田県		18.5	714	2.6%
能代	秋田県		6.5	276	2.4%
船川	秋田県		1.8	253	0.7%
久慈	岩手県		4.9		
宮古	岩手県		4.5	66	6.8%
釜石	岩手県		0.2		
大船渡	岩手県		4.0		
仙台塩釜	宮城県		29.2	814	3.6%
石巻	宮城県		11.2	432	2.6%
酒田	山形県		17.8	671	2.7%
相馬	福島県		14.0		
小名浜	福島県		13.7	81	16.9%

種類凡例 : 特定重要港湾, : 重要港湾

緑地面積率 = 供用緑地面積 / 臨港地区面積

資料：国土交通省港湾局計画課「平成12年港湾計画書」

国土交通省東北地方整備局港湾空港部ホームページ

### 【参考】

平成 14 年時点での我が国の港湾空間における緑地面積率は 7.3%

(平成 16 年 6 月 交通政策審議会港湾分科会 第 1 回環境部会資料-4「エコポート政策及びその実施状況」)

東北地方における主な内湾域

都道府県	湾名称	面積(km <sup>2</sup> ) S	湾口幅(km) D2	湾内最大水深(m) D1	湾口最大水深(m) W	閉鎖度指標
青森県	陸奥湾	1667.89	14.00	75.00	75.00	2.92
岩手県	宮古湾	24.10	4.80	76.00	76.00	1.02
	釜石湾	8.70	2.30	49.00	49.00	1.28
	大船渡湾	7.89	0.20	38.00	38.00	14.04
宮城県	松島湾	35.30	1.70	4.00	4.00	3.49
	気仙沼湾	15.40	2.60	29.00	21.00	2.08
	雄勝湾	19.82	3.01	46.00	46.00	1.48
	女川湾	12.10	2.50	36.00	36.00	1.39
福島県	小名浜湾	3.97	1.00	20.00	20.00	1.99

資料：環境庁告示（1993年8月27日）より抜粋

青森市における排雪量と海上投棄量

単位：千トン

年度	排雪量		
	全体量	うち港湾内	割合
平成 8 年度	1,273	737	58%
平成 9 年度	1,737	1,052	61%
平成 10 年度	2,680	1,610	60%
平成 11 年度	894	383	43%
平成 12 年度	3,518	1,835	52%
5 カ年合計	10,102	5,617	56%



資料：国土交通省東北地方整備局資料

## 6. みなとまちづくり

### (1) 県内での取り組み

県内では、海やみなとに関わる市民団体が組織され活動を展開している。

青森県むつ市川内町の取り組みとして、海辺の自然体験活動の指導者を養成する「海辺の達人養成講座 in かわうち」と、その受講生が講師となり子ども達に海辺の楽しさを教える「子ども自然学校 in かわうち」を2004年8月に同時に開催。

県内には、公共マリーナが2箇所、ポートパークが2箇所整備されている。

(八戸港白銀地区のPBSは来年度完成予定)

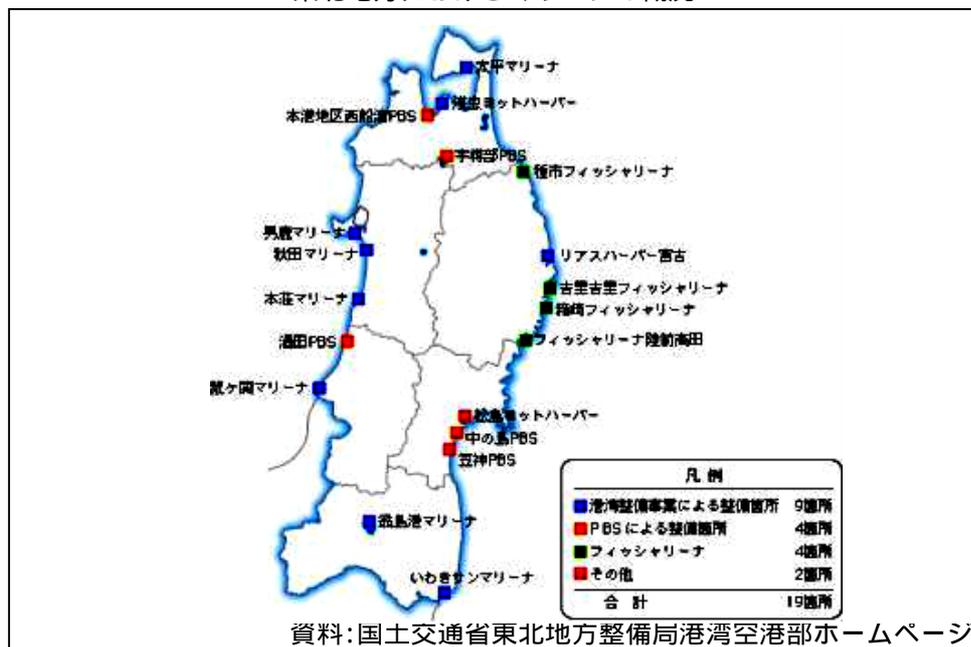
### 青森県で海やみなとに関連した活動を行っている主な団体

NPO等団体名称	活動目的
はちのへ・みなとまちづくりネットワーク協議会	みなとに関わる各団体(地区観光協会、町内会、NPO、行政機関など)が協働して、みなとまちづくりに取り組んでいる。(「海の行-30」ネットワーク構想など)
八戸商工会議所青年部	八戸のみなとまちづくりプランの検討を進め、港や海を活かしたまちづくりに取り組んでいる。(八戸港色彩計画など)
はちのへみなとまちづくり市民フォーラム	市民と行政機関や企業、市民団体等とパートナーシップをとり、みなとについての学習や活用方策を考え、市民によるみなとづくりの実現を図る。(八戸のみなとづくり懇談会、フォーラム開催など)
「海の八戸」NPO	八戸市民や観光客に、海を活用したブルーツーリズム、親水空間利用などの各種事業を行い、地域活性化に貢献する。(屋形船、遊覧船、海の朝市など)
NPO「Acty」	世界に誇れるまちづくりに取り組み、地域社会の活性化に寄与することを目的として活動している。(中心街の様々なストリートボール、みなと博ランカイなど)
おいでよあぶらかわ会	青森市民や近隣町村民に対して、商店街の活性化や環境保全に関する事業及び子どもの健全育成を図る事業等を行うことによって、まちづくりや地域社会の活性化を目指し、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的として活動している。
シェルフォレスト川内	むつ市川内町を中心とした下半島のすばらしい自然環境の中で、大人、子供、高齢者、障害者のすべての人々が時と所を共有し、学び、遊び、交流することを中心とした自然学校及びボランティア体験育成事業、文化、芸術、スポーツの振興及びまちづくり事業などを行うことによって、人々の相互理解の向上と幸福の実現に寄与することを目的として活動している。

### 海辺の達人養成講座の様子



### 東北地方におけるマリーナの概況



## 【青森港本港地区景観形成モデル事業】

港湾景観形成モデル事業は、港の特色を生かした良好な景観形成を図るため、モデル的な港湾において景観形成のための計画を策定し、これに基づき港湾景観を積極的に向上させる事業である。本事業は、青森港において平成7年10月に第1次承認港として全国7港の一つとして承認された。

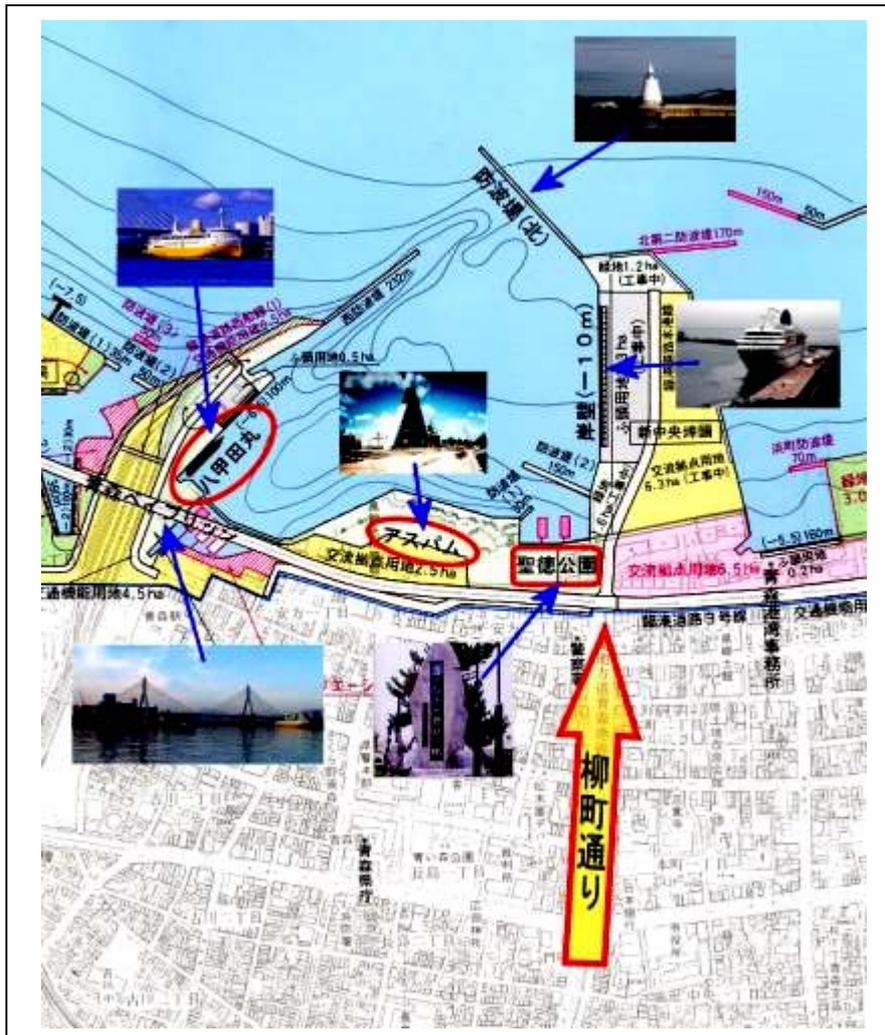
### <取り組みの概要>

岸壁(-10m)では、国内外のクルージング需要増加に対応するため東北地方では初となる3万トン級大型客船バースとしての整備を行った。平成15年8月5日には供用開始記念式典を開催、第一船の「八甲田丸」が着岸し、その後7隻の旅客船が着岸し、賑わいを見せている。

防波堤(北)では、大型旅客船バースを始めとする当該区域の港内静穏度の向上及び船舶航行の安全を図るため整備を行い、防波堤先端部にはデザイン灯台が配置されている。

今後は岸壁(-10m)および防波堤(北)の完成で、青森港に入出港する旅客船の航行安全が確保されることはもとより、青森県観光物産館「アスパム」、青森ベイブリッジ、メモリアルシップ「八甲田丸」と一体となった景観形成が図られ、青森駅、中心商店街に近接した立地条件を活かしつつ、開放された魅力溢れるウォーターフロント空間として多くの一般市民や来訪客から親しまれ利用されていくことが期待される。

青森港本港地区景観形成モデル事業解説図



## 【交流遺産による都市再生調査（「平成 16 年度 全国都市再生モデル調査」 青森市）】

### 取り組みの概要

青森市は、明治から北海道と本州の間をつなぐ青函連絡船が就航し、駅と港が一体となった中心市街地を形成してきた。連絡船廃止後、この港湾空間を観光客や市民の憩い場として再開発してきたが、様々の環境変化を背景に、港への市民意識が薄れ、施設利用等が低迷している状況にある。

東北新幹線新青森駅開業を目前に、並行在来線となる現青森駅周辺（ウォーターフロント地区含む）の魅力を高め、将来の新幹線効果を最大限に享受するため、交流拠点都市として発展してきた本市の歴史を語る青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」と周辺のウォーターフロント地区を「交流遺産」と定義し、市民と一緒に既存ストックを有効に活用した賑わい再生の在り方を検討した。

### まりづくりへの効果（平成 17 年 4 月 1 日現在）

#### 東北新幹線新青森駅開業に向けた取り組みが加速

新幹線開業（2010 年）を目標に、県都中心市街地再活性化の核として、本ウォーターフロント地区に「ねぶた」を核とした文化観光交流施設、青函連絡船「八甲田丸」等で構成する「ふるさとミュージアム」整備の検討がスタート。

#### 市民の機運の高まり

調査の中で「連絡船保存に対する意識は、市民よりも来訪者の方が圧倒的に高い」、「連絡船を利用した世代（50 代）が、保存への否定的傾向が高い」、「市民の港への来訪機会が著しく低い」などの課題が顕在化する一方で、任意団体が本調査を契機として「昭和の懐かしいミナト界限や賑わいを感じる機会を提供」するための事業を計画するなど、民間レベルでの試みもスタート。

#### 関係者間の連携強化

三セクの破綻等によりウォーターフロントに対する関係者間の意識が低下していたが、本調査を契機に、連携強化を図ることを確認。



八甲田丸



青森市街地

資料：内閣官房 都市再生本部ホームページ

【はちのへ「海のステーション」ネットワーク構想】

八戸のみなと活性化のため、各エリアを「海のステーション」として情報発信拠点・交流拠点として活用し、各駅をネットワーク化することで、市民や観光客をみなとへ誘導することと、「食」にこだわり、みなとでの飲食・物産販売を促進することで地元での消費額を増加させることを目的とした構想。

< 構想の概要 >

館鼻地区・鮫地区にそれぞれ「海のステーション」を設置し、観光案内所、物産販売、レストラン等を開設する。

1. 館鼻地区 = 「海のステーションたてはな」

- ・海の観光総合案内所を開設し、観光客にパンフレット等を配布する。
- ・物産店、レストラン、イベント広場等を開設し、市民や観光客に飲食サービス・土産品を提供する。(海の朝市、スポーツ遊戯施設、海の映画館等)

2. 鮫地区 = 「海のステーションさめ」

- ・海の歴史資料館を開設し、パネルや資料を展示する。
- ・観光案内所兼無料休憩所を開設し、観光客にパンフレットの配布や、観光情報を提供する。
- ・さめ味覚祭りを開催し、あるいはイベント広場(蕪島バーベキュー広場)を開設する。

みなとのガイドマップ作成

- ・みなと周辺部のガイドブックを作成し、観光案内所等で無料配布する。

はちのへ「海のステーション」ネットワーク構想図



資料：八戸市提供資料

【八戸みなとまちづくり色彩計画】

八戸港では、地域づくりの一環として街並みや景観を色彩の統一等により、より良いものにしていくための「八戸港色彩計画」を策定中である。策定にあたっては、地元住民の合意形成の他、有識者や企業からの意見も聴取していく。

八戸港色彩計画の概要



資料：八戸みなとまちづくり色彩計画推進委員会

## (2) みなとオアシス

### 【みなとオアシス制度】

「みなと」は、古くから地域の拠点として、暮らし・産業を支え、特色ある歴史・文化を育んできた。このようなみなとの本来持つ機能を活かし、にぎわいの創出や地域に関する情報提供など、地域の魅力づくりに貢献できる「みなと」づくりがますます求められている。

このような背景のもと、中国・四国地方整備局が、平成15年11月20日に、市町村が住民と連携しみなとまちづくりをすすめるために制度化したのが「みなとオアシス」制度である。地方整備局長から、計画案を認定・登録を受け、様々な支援を得て、みなとまちづくりを推進する制度である。

「みなとオアシス」とは、海浜・旅客ターミナル・広場など「みなと」の施設やスペースを活用した地域交流拠点であり、「みなと」を、地域の方々や観光客など多くの人が気軽に立ち寄り交流する憩いの場、いわゆる「オアシス」として活用しようというものであり、次のようなタイプがある。

- ・旅客ターミナル型：旅客船やフェリーのターミナルが中心となり、地域の玄関となっている。
- ・海浜型：人工海浜が地域の訪問客の大部分を担い、インフォメーションセンター等の核となる施設が存在し休憩食事等をおこなうことができる。
- ・ボートパーク型：マリーナ、ボートパークが中心となり、海からの訪問客の玄関となっています。



【みなとオアシス 八戸海のステーションたてはな】

平成 17 年 7 月 18 日の「海の日」に、東北地方整備局が 7 つの「みなとオアシス」の登録を行った。これにより、東北地方で初めての「みなとオアシス」が誕生した。青森県では八戸港が登録されている。

八戸みなとオアシスの概要

Minato OASIS Hachinohe  
UMI NO STATION TATEHANA

**みなとオアシス**  
**八戸海のステーションたてはな**

青森県  
八戸港

～おんでやあんせ八戸～

- ・日本一の漁船集積地
- ・日本一の海の日曜朝市

**みなとオアシスのエリアと構成施設**

**「みなとオアシス 八戸海のステーションたてはな」は八戸港の中心部に位置し、目の前に全国屈指の漁船集積地である鮎舟漁港があります。館内には、魚介類や地産物などをはじめとした直売所があります。**

日曜日の早朝には高麗の岸壁において海の日曜朝市が開催され、新鮮な魚介類・農産物・衣類・雑貨など合計約 400 軒もの店が出店し、大変にぎわいます。周辺には、天然記念物「黒島」や「蘆花海岸」など観光地があり、八戸の観光拠点としてご利用頂けます。

**アクセス**

- 公共交通機関：JR 陸奥浜駅より徒歩 20 分
- JR 八戸駅より市営バス(船ヶ丘営業所行き等) 乗換 三日町(中央通り)乗り換え、三日町(BaFM)より市営バス(船ヶ丘)乗車、船ヶ丘二丁目バス停下車徒歩 8 分
- JR 八戸駅より市営バス(船ヶ丘営業所行き) 乗換 三日町(中央通り)乗り換え、三日町(BaFM)より市営バス(日曜朝市営業バス、いさばち)乗車、船ヶ丘港前停下車徒歩 5 分【日曜朝市開催時のみ運行】
- 自家用車：八戸自動車道八戸ICより 30 分

**提供される主なサービス**

- 情報
  - ・観光案内所・パンフレット
- 買物
  - ・土産物屋(海産物等)・自販機
- 飲食
  - ・軽食(2店舗)
- その他
  - ・遊覧船運航(港内)

**イベントのご紹介**

- **日曜朝市**  
(毎週日曜日：日の出～8 時頃に開催)  
魚介・地域特産物の販売
- **湊ふるさとフェスティバル**  
(7 月下旬)  
イカダレース、活イカのつかみ取り等開催
- **八戸花火大会**  
(7 月下旬)  
約 3,000 発の打ち上げ花火

**お問い合わせ先 (運営主体)**

NPO 法人 海の八戸 NPO  
電話: 0178-35-4370  
Mail: umi-npo@agate.plala.or.jp  
URL: http://www.umi-npo.jp/

湊ふるさとフェスティバルは 7 月 24 日、八戸花火大会は 8 月 5 日に開催された

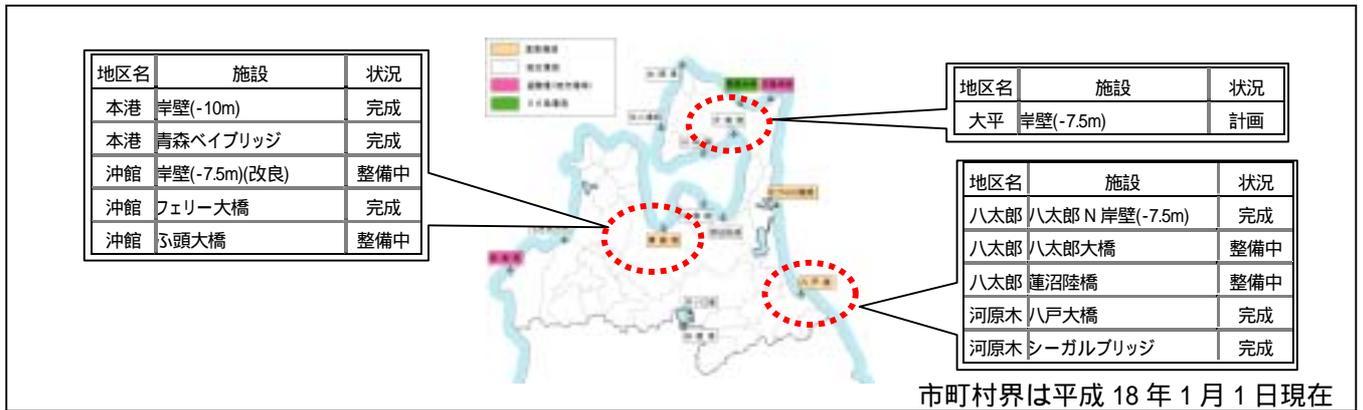
資料：国土交通省東北地方整備局提供資料

## 7. 防災

県内港湾では、青森港、八戸港、大湊港において港湾施設の耐震強化へ向けた整備が進められている。

多くの海岸保全施設が完成後 20 年以上経過しており、老朽化の進行が危惧される。

港湾施設の耐震強化状況



八戸港の耐震強化岸壁



県内沿岸における海岸保全施設の完成後年数

